

通行手形

●筆写例

差上申手形之事

一、上下三人

右之者共、此度大坂心齋橋

筋迄、罷越候ニ付、其

御関所無ニ相違一、御通被_レ遊

可_レ被_レ下候、為_ニ後日_一仍如_レ件、

江戸何町何丁目

年号月日 何右衛門

箱根

御関所

御当番衆中様

●読み下し例

差し上げ申す手形の事

右の者ども、このたび大坂心齋橋筋^{すじ}まで、

まかり越し候につき、その御関所相違^{そごうい}なく

御通し遊ばされ下さるべく候、後日のため

よってくだんのごとし、